



赤い壁

熊本大学内の小道をゆく。

バス通りから黒髪南キャンパスに入ると、ひときわ印象的な赤煉瓦の建物が目に入る。国の重要文化財の工学部研究資料館である。

中に入ると吹き抜け天井の大空間の中、迫力ある大型機械が整然と並んでいる。黒光りしている。手入れが施されているのがよく分かる。天井にも駆動機械のシャフトやベルトが縦横に這っている。スイッチを入れるとあちらこちらからウインウインとリズムカルにメカニカル音が響き渡る。明治期から錆びつくことなく今でも動く、11台の黒鉄色の重要文化財群である。それぞれ機械構造の異なるものばかりであり、独逸製、亜米利加製、英吉利製と鎮座している。

外へ出ると、建物の壁面は日差しとともに、アッシュレッドの落ち着き深く鮮やかな色合いを見せている。夕刻には斜めの日差しが建物の起伏の豊かな造形を浮かび上がらせてくれる。意匠を重視したであろう丸窓は建物を愛らしく見せ、アーチ型の窓も張り出した直柱もリズムカルにアクセントを刻んでいる。西側の巨大で武骨な1枚赫壁面が夕焼けに照らされ、歴史を帯びた煉瓦はライトレッドに染まりまばゆい。朝の澄んだ空気も、夕方のまどろみも、どの角度も時間も絶好のロケーションである。

時には工学部の建物の造作に気概を感じ、ロジックよりロマンを味わう。明治の風景が心に溶け込むのにちょうどよい時間を過ごす。

工学部研究資料館

〒860-8555

熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

TEL 096-342-3513

[開館] 毎月第3木曜日13:00~16:00
(重要文化財機械類を動かします)

※他、学園祭、学部内行事等の機会に不定期開館します。

入場無料

交通機関

バスをご利用の場合

「熊本大学前バス停」下車徒歩1分

